

2025年 漢方薬・生薬研修会 試問問題

I 次の文の【問1】から【問5】の中に最も良く当てはまる語を各選択肢1.～3.の中から選び記号で答えよ。

- 1) 「神農本草経」は、後漢（1～2世紀）の時代に成立したとされるが、そこには【問1】種の薬物が収載されている。
1. 365 2. 730 3. 1460
- 2) 西暦659年、蘇敬らは「新修本草」を著わした。この勅撰本草は別名【問2】と呼ばれており、仁和寺に写本の一部が残されている。
1. 名医別録 2. 唐本草 3. 図経本草
- 3) 宋代の1108年に編纂された【問3】は、完全な形で現存し、図版も優れ、印刷も鮮明で、文献的な価値が高い。
1. 神農本草経集注 2. 山海経 3. 経史証類大観本草
- 4) 明の時代の1596年に【問4】が著わした「本草綱目」には、およそ1,900種の薬物が収載されており、我が国の江戸時代以降の本草学に大きな影響を与えた。
1. 陳藏器 2. 李時珍 3. 陶弘景
- 5) 「養生訓」で知られる【問5】は、「本草綱目」所載の薬物と我が国の民間薬とを合わせた「大和本草」を著わした。
1. 新井白石 2. 小野蘭山 3. 貝原益軒

正解

【問1】 1. 【問2】 2. 【問3】 3. 【問4】 2. 【問5】 3.

Ⅱ 便秘の漢方治療について、【問6】から【問12】にあてはまる最も適切なのはどれか。【問6】【問7】【問10】【問11】【問12】は解答群1、【問8】と【問9】は解答群2の中から選べ。

急性便秘には【問6】、慢性の場合や水分が少ない硬い便の便秘には【問7】が第一選択となる。【問7】に配合されている【問8】が腸内を潤すことにより排便を促し、【問9】が腹部の緊張を緩める。

便秘するとお腹がはるといふ際には【問10】が有効であり、より強い便秘腹満には【問11】を用いる。いらいらと心下痞を認める便秘の場合は【問12】が適応される。

解答群1 (【問6】【問7】【問10】【問11】【問12】)

1. 三黄瀉心湯
2. 桂枝加芍薬大黃湯
3. 桃核承氣湯
4. 大黃甘草湯
5. 麻子仁丸
6. 大承氣湯
7. 桂枝加芍薬湯

解答群2 (【問8】【問9】)

1. 大黃
2. 芍薬
3. 甘草
4. 芒硝
5. 桃仁
6. 杏仁
7. 麻子仁
8. 桃仁と杏仁
9. 桃仁と麻子仁
0. 杏仁と麻子仁

正解

【問6】4. 【問7】5. 【問8】0. 【問9】2. 【問10】2. 【問11】6. 【問12】1.

Ⅲ 女性の病気の漢方治療について、【問 13】 から 【問 19】 に当てはまる最も適切なのはどれか。解答群 3 の中から選べ。

【問 13】 は、華奢で弱々しい若年女性の冷えや浮腫、めまいに用いられる。【問 14】 は、やや華奢な感じの中年女性の更年期症状の特にホットフラッシュや不眠、イライラに用いられる。【問 15】 は、体力が充実しており、冷え、のぼせが強く、左下腹部に小腹急結が認められる場合に用いられる。

更年期障害や血の道症に見られる不定愁訴のうち、末梢性めまいの背景に胃腸虚弱があり、疲れやすい場合には【問 16】 が、末梢性めまいやのぼせがある場合には【問 17】 が用いられる

寒冷刺激で誘発あるいは増悪する末梢循環障害による若年女性の手足の冷えや腹痛には【問 18】 が用いられ、新陳代謝の低下により全身が冷え、脈が沈んで弱い場合は【問 19】 が用いられる。

解答群 3

1. 半夏白朮天麻湯
2. 加味逍遙散
3. 真武湯
4. 桂枝茯苓丸
5. 当帰芍薬散
6. 苓桂朮甘湯
7. 当帰四逆加呉茱萸生姜湯
8. 桃核承気湯
9. 苓姜朮甘湯

正解

【問 13】 5. 【問 14】 2. 【問 15】 8. 【問 16】 1. 【問 17】 6. 【問 18】 7.  
【問 19】 3.

IV 薬用植物栽培について、【問 20】から【問 25】に当てはまる最も適切なのはどれか。  
解答群 4 の中から選べ。

薬用植物の生育・品質には、栽培種または品種などの【問 20】と、土壌・気象などの【問 21】や、栽培年数・収穫時期、肥料などの【問 22】に加えて、収穫後の乾燥方法や各種の処理などの【問 23】が関与する。そして、これら薬用植物の生育・品質は漢方製剤、生薬製剤、刻み生薬などの生薬関連製剤の品質に大きくかかわっている。従って、生薬関連製剤の品質確保には、医薬品生産段階での【問 24】管理だけでなく、栽培や採取の管理としての薬用植物の【問 25】が定められている。例えば、栽培地域の選定と栽培管理においては、気象、土壌、灌漑、排水に加え種々の栽培条件の文書化での管理が定められており、使用した農業に関しても、種類、濃度、量、時期、使用回数の記録が求められている。

解答群 4

1. 基原
2. 自然環境要因
3. 調製加工条件
4. 栽培条件
5. 遺伝的要因
6. GLP (Good Laboratory Practice)
7. GMP (Good Manufacturing Practice)
8. GCP (Good Clinical Practice)
9. GAP (Good Agricultural Practice)
0. GACP (Good Agricultural and Collection Practices)

正解

【問 20】 5. 【問 21】 2. 【問 22】 4. 【問 23】 3. 【問 24】 7. 【問 25】 0.

V 『傷寒論』では病気の進行を典型的な6つの病位に分類して、その変化に応じた治療指示をしている。これを六病位という。

次の表は、それぞれの病期の大綱を簡潔に表現した表の一部である。各問の指示に従って選べ。

| 六病位 | 病位    | 臓器・部位 | 傷寒論条文 | 代表的方剤 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 太陽病 | 【問26】 | 【問27】 | 【問28】 | 【問29】 |

【問26】「病位」としてもっとも適切なものを次の中から1つ選べ。

1. 内 2. 外 3. 中 4. 近 5. 遠 6. 不近不遠 7. 表 8. 裏
9. 半表半裏

【問27】「病位と関連の深い臓器・部位」としてもっとも適切なものを次の中から3つ選べ。

1. 生殖器 2. 汗腺 3. 肝臓 4. 気管支 5. 腎臓 6. 関節 7. 小腸・大腸
8. 肺 9. 皮膚

【問28】「条文」として適切なものを次の中から1つ選べ。

1. 脈浮、頭項強痛して悪寒す
2. 腹満して吐し食下らず自利益甚しく時に腹自ら痛む。若し之を下せば必ず胸下結鞭す
3. 胃家実、是れ也
4. 消渴、気上りて心を撞き、心中疼熱し、飢えて食を欲せず食すれば則ち嘔を吐し之を下せば利止まず
5. 脈微細、但寐んと欲する也
6. 口苦く咽乾き目眩く也

【問29】「代表的な方剤」としてもっとも適切なものを次の中から2つ選べ。

1. 桂枝湯 2. 小柴胡湯 3. 大承気湯 4. 桂枝加芍薬湯 5. 真武湯
6. 麻黄湯 7. 大柴胡湯 8. 白虎湯 9. 小建中湯 0. 麻黄附子細辛湯

【問30】次は傷寒論の条文である。この条文の（ ）内に入る漢方薬名はどれか。

1つ選べ。

「太陽中風、陽浮而陰弱、陽浮者、熱自發、陰弱者、汗自出、奮奮惡寒、漸漸惡風、翁翁發熱、鼻鳴乾嘔者、（ ）主之。」

1. 小柴胡湯 2. 小青竜湯 3. 白虎加人參湯 4. 麻黄湯 5. 葛根湯
6. 麻黄附子細辛湯 7. 柴胡桂枝湯 8. 真武湯 9. 桂枝湯 0. 麻杏甘石湯

正解

【問26】7. 【問27】2. 6. 9. 【問28】1. 【問29】1. 6. 【問30】9.

Ⅵ 消化器疾患の漢方治療について、【問31】から【問39】にあてはまる最も適切なのはどれか。【問31】【問37】【問38】【問39】は解答群5、【問32】と【問33】は解答群6、【問34】【問35】【問36】は解答群7の中から選べ。なお、【問36】は2つ選べ。

機能性ディスペプシアの漢方治療には【問31】が汎用される。【問31】は胃もたれ、舌の白苔、腹診で【問32】などが認められる患者に用いられ、気虚と【問33】を治す。【問31】の胃排出能促進効果には【問34】のヘスペリジンが、食欲促進効果にはペプチドホルモンの【問35】増強を介する作用が報告されている。

【問31】の構成生薬【問36】、陳皮、朮により胃腸の【問32】を除く。

過敏性腸症候群の漢方治療で腹痛、下痢の訴えがあり腹直筋の緊張が強い場合、【問37】がよく用いられる。癒着性イレウス（腸閉塞）の治療には腸管の運動を改善する【問38】が最も用いられている。大黄を使えない虚証の人の便秘には【問37】や【問39】が用いられる。

解答群5（【問31】【問37】【問38】【問39】）

1. 大柴胡湯
2. 大建中湯
3. 小建中湯
4. 人參湯
5. 六君子湯
6. 桂枝湯
7. 桂枝加芍薬湯

解答群6（【問32】【問33】）

1. 水滯
2. 血虚
3. 瘀血
4. 胃内停水
5. 小腹不仁
6. 胸脇苦満

解答群7（【問34】【問35】【問36】）

1. 陳皮
2. 猪苓
3. 茯苓
4. 人參
5. 半夏
6. 麻黄
7. グレリン
8. メラトニン

正解

【問31】5. 【問32】4. 【問33】1. 【問34】1. 【問35】7. 【問36】3. 5.  
【問37】7. 【問38】2. 【問39】3.

Ⅶ 皮膚疾患の漢方治療について、【問40】から【問45】にあてはまる最も適切なのはどれか。【問40】から【問42】までは解答群8、【問43】から【問45】までは解答群9の中から選べ。

湿疹の漢方治療に用いられる消風散は紅斑や丘疹に清熱効果のある【問40】、知母、地黄、小水疱や湿潤に利尿効果のある【問41】、掻痒には祛風剤でかゆみを和らげる【問42】、牛蒡子、蝉退、滋潤作用のある当帰、胡麻などが含まれる。

成人のアトピー性皮膚炎の漢方治療では、浮腫を伴う鮮紅色の充血性紅斑やイライラ感を伴う場合は【問43】を、また乾性でほてりを伴う場合は【問44】が用いられる。炎症が慢性化し苔鱗化などの増殖性変化には【問45】のような駆瘀血薬に清熱薬を配合して用いる。

解答群8（【問40】【問41】【問42】）

1. 芍薬、山薬
2. 苦参、石膏
3. 牡丹皮、大棗
4. 芍薬、山薬
5. 蒼朮、木通
6. 枳実、五味子
7. 人参、黄耆
8. 柴胡、厚朴
9. 荆芥、防風

解答群9（【問43】【問44】【問45】）

1. 加味逍遙散
2. 白虎加人参湯
3. 黄耆建中湯
4. 安中散
5. 通導散
6. 黄连解毒湯

正解

【問40】 2. 【問41】 5. 【問42】 9. 【問43】 6. 【問44】 2. 【問45】 5.

Ⅷ 次の生薬について、それぞれ、①主要な薬用部位、②基原植物名及び③主要含有成分の構造式はどれか。各問指示に従って選べ。

1) チョウトウコウ

- ①【問 46】 薬用部位を解答群 10 の中から選べ。
- ②【問 47】 基原植物名について最も適切なものを解答群 11 の中から選べ。
- ③【問 48】 主要含有成分の構造式を解答群 12 の中から選べ。

2) キナ

- ①【問 49】 薬用部位を解答群 10 の中から選べ。
- ②【問 50】 基原植物名について最も適切なものを解答群 11 の中から選べ。
- ③【問 51】 主要含有成分の構造式を解答群 12 の中から選べ。

3) リュウタン

- ①【問 52】 薬用部位を解答群 10 の中から選べ。
- ②【問 53】 基原植物名について最も適切なものを解答群 11 の中から選べ。
- ③【問 54】 主要含有成分の構造式を解答群 12 の中から選べ。

4) キョウニン

- ①【問 55】 薬用部位を解答群 10 の中から選べ。
- ②【問 56】 基原植物名について最も適切なものを解答群 11 の中から選べ。
- ③【問 57】 主要含有成分の構造式を解答群 12 の中から選べ。

5) ビャクジュツ

- ①【問 58】 薬用部位を解答群 10 の中から選べ。
- ②【問 59】 基原植物名について最も適切なものを解答群 11 の中から選べ。
- ③【問 60】 主要含有成分の構造式を解答群 12 の中から選べ。

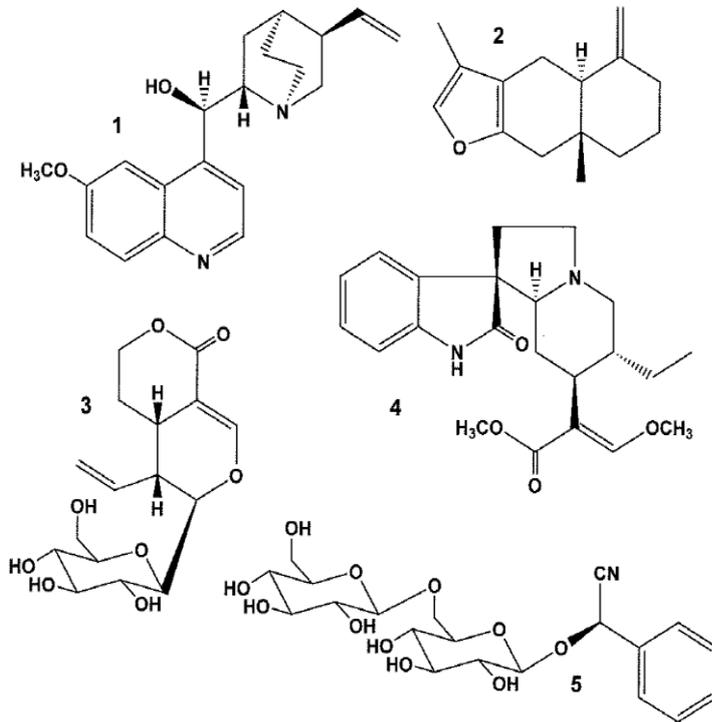
解答群 10 (薬用部位)

1. 樹皮、2. 根茎、3. 果実、4. 種子、5. 棘、6. 根および根茎

解答群 11 (基原植物名)

1. *Uncaria rhynochophylla*、2. *Cinchona succirubra*、3. *Gentiana scabra*、  
4. *Atractylodes japonica*、5. *Prunus armeniaca*、6. *Scopolia japonica*

解答群 12 (主要含有成分の構造式)



正解

- 【問 46】 5. 【問 47】 1. 【問 48】 4. 【問 49】 1. 【問 50】 2. 【問 51】 1. 【問 52】 6.  
【問 53】 3. 【問 54】 3. 【問 55】 4. 【問 56】 5. 【問 57】 5. 【問 58】 2.  
【問 59】 4. 【問 60】 2.

IX 次の【問 61】から【問 70】の記述に相当する生薬について、< >内に記した生薬名とその基原の使用部位の組み合わせが正しければ「1」を、間違いを含んでいれば「2」をマークせよ。

【問 61】 当帰四逆加呉茱萸生姜湯、通導散、五淋散に配合され、利尿や通経の効果が期待される。<センキュウ・つる性の茎>

【問 62】 加味逍遙散、川芎茶調散に配合され、清涼感のある精油成分が特徴的な生薬である。<ハッカ・精油を含む腺鱗>

【問 63】 加味逍遙散、茵陳蒿湯、黄連解毒湯に配合され、利胆や消炎等の作用が期待される。<サンシシ・果実（偽果）>

【問 64】 四物湯、補中益気湯、抑肝散、紫雲膏に配合され、補血、滋養強壯の作用が期待される生薬で特徴的なにおいがあり、冷え性や月経不順等の改善を目標とした処方に汎用される。<トウキ・根>

【問 65】 半夏瀉心湯、黄連解毒湯、温清飲に配合され、利胆、抗菌、健胃等の作用が期待される生薬で、非常に苦い。<オウレン・根>

【問 66】 平胃散、半夏白朮天麻湯、清暑益気湯、香蘇散に配合され、健胃や利尿の効果が期待される。<チンピ・成熟果実の果皮>

【問 67】 小青竜湯、小柴胡湯、六君子湯、麦門冬湯、温経湯に配合され、去痰、鎮吐作用が期待される。えぐ味が特徴的な生薬である。<ハンゲ・塊茎>

【問 68】 麻子仁丸、麻杏甘石湯、五虎湯に配合され、鎮咳、去痰作用が期待される。特徴的な成分として青酸配糖体を含む。<トウニン・種子>

【問 69】 小青竜湯、麻杏甘石湯、葛根湯に配合され、鎮咳、去痰、発汗、解熱作用が期待される。基原となる植物は裸子植物である。<マオウ・地上茎>

【問 70】 辛夷清肺湯、清暑益気湯、温経湯、竹茹温胆湯に配合され、鎮咳、止渴、強壯の効果が期待される。<ニンジン・根の膨大部>

正解

【問 61】 2. 【問 62】 2. 【問 63】 1. 【問 64】 1. 【問 65】 2.  
【問 66】 1. 【問 67】 1. 【問 68】 2. 【問 69】 1. 【問 70】 2.